

事業所名 キッズルームびすけっと

公表日 R7年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点と課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動内容や職員配置を工夫して、スペースを使っています。法的には問題はありませんが、児童の特性上、限られた空間をうまく活用していく工夫はさらに必要と考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	ミーティングで職員配置を決めたり、各部屋に職員がつけるようにその都度声をかけをしたりしています。個別定められた基準に沿って人員を配置していますが、対応が必要な児童をしっかりと支援していくために、職員間のさらなる声の掛け合い、スケジュール、役割分担などの工夫をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	空間的に死角になりそうな場所は職員で連携しつつ、利用児にも伝えながら過ごしています。課題を行う部屋、遊びの部屋という認識ができるように空間を分けて過ごしています。視覚的に分かりやすくする一方で、視覚情報の多さによる混乱や意識散漫を招かないような工夫が必要であると考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃、消毒の徹底、必要に応じて換気なども行っています。テーブルや遊具なども活動や状況に応じて移動しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンできる部屋や、年齢層の高い子たちが落ち着いて過ごせるような空間を確保しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	年度初めに目標と業務分担をスタッフ全員で検討し可視化しました。毎月、行事や活動について振り返り、業務については半期で振り返ることで次につなげています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	集計結果を全職員で共有し、できること、できそうなことから取り組み、改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティングと定期的なミーティングを行い、気になることを共有し、改善、振り返りをしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	今後の検討課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修への参加を積極的に行いました。今年度は事業所内研修ができなかったため、来年度の検討課題です。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	R7.2月にHP上で公表しました。プログラムの意図、一人一人に合わせた支援については適宜お伝えしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	今後も細かくアセスメントし、保護者様や関係機関と連携して一人一人の成長を支えています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	作成段階から児童にかかわる職員の意見を取り入れながら作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	利用児童ごとにカルテに綴り、いつでも職員が見られる環境にしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメント及び、事業所独自のものを活用しています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	常にガイドラインを意識し、何度も振り返りながら支援につなげています。過去・現在・将来の個々の育ちの連続性を意識した支援を心掛けています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動内容についてはその都度ミーティングを行い話し合っています。土曜日のプログラムについてはリーダーが中心となって作成共有しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	新しい物品や活動を徐々に増やしつつ、活動が毎回同じにならないように工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	特性に応じた個別の活動と、帰りの会を兼ねた集団活動を取り入れて組み合わせの工夫をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日ミーティングを行い、連絡事項、役割分担、児童の情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	翌日のミーティングにて、前日の児童の様子や活動についての情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個々の様子についてカルテに記録しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングの他、送迎時や連絡帳の活用、電話連絡などを通して見直しの機会としています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が参画しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	児童を主とし、関係機関と顔の見える関係づくりに務めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保育所等訪問を実施しました。今後も必要に応じて行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	積極的に行っているとともに、要望あればいつでも共有できる体制を整えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	必要に応じて機会を設けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	児童館の活用やこども食堂へ参加、長期休みは公共施設を利用しました。今年度は他事業所との交流会を行いました。児童発達利用児に対象児童はいませんでした。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の送迎時、連絡帳などでこまめにやり取りを行っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	今後の検討課題です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に必ず説明しています。不明点やご希望があれば適宜対応させていただきます。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	モニタリング用紙の配布とそれに合わせた詳細の確認を行いました。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	一人一人の特性や発達段階に応じて、支援内容とその意図などを説明しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	モニタリング面談以外にもその都度やり取りを行い対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	長期休みのイベントで保護者ボランティアの募集を行うことで保護者間交流の場になりました。保護者会については今年度は事業所都合で中止します。来年度実施予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	職員間で迅速に情報共有し対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的なHPの更新や予定表の配布を行っています。来所の際は壁面など子どもの活動がわかるものも見てもらっています。さらなる周知の方法も検討中です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	職員間で協議し、ルール作りや環境の見直しを図りました。個人情報書類のシュレッダーによる処分や鍵付きの書庫での保管などを徹底しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	「見える化」「言語化」に努めています。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	長期休みのイベントで学生ボランティアを募り、実際にかかわってもらう機会を設けました。さらに地域に開かれた事業所になるための活動については今後の検討課題としています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルについては定期的に見直しを行い、保護者様への周知の方法などの環境も整えていきたいと考えております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCP策定済。年2回避難訓練週間を設け、春は火災、秋は地震を想定した避難訓練を行いました。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	必要な児童に対しては保護者様に提出を求め、それに伴った対応を行っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	必要な児童に対しては保護者様に提出を求め、それに伴った対応を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間スケジュールに盛り込み、定期的に全職員で見直しを行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画に基づく取組内容について、ご家庭へ周知していきます。また計画については希望者にいつでも公開できる環境を整えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事業所内ミーティングで事実と要因、対応共有と振り返りを行い、全体会議で共有して助言を受けています。小さなヒヤリハットでは具体的な防止策の検討までできていないこともあるため、防止策の検討まで行い実践していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	職員の虐待に対する意識調査アンケートを実施しました。それをもとに理解を深め、発見時の対応について再確認する研修を行いました。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	現在対象児童の在籍はいませんが、必要に応じて説明し、保護者様納得のもとですすめていきます。